

渡邊定夫先生の喜寿を祝う —研究室の歴史に想いを馳せながら

Celebration Party of the former Professor Sadao Watanabe's 77th Birthday

text_nakashima

9月11日(金)、神田の学士会館にて1975年から1993年まで当研究室で教鞭を取られた渡邊定夫先生の「喜寿を祝う会」が開かれました。当研究室OB・OGや現研究室メンバーにのみならず多くの方にお集まり頂き、大いに盛り上がりました。Celebration party of the our lab's former professor Sadao Watanabe's 77th birthday was held at Gakushi-kaikan, Kanda on 11th September, who took on his job from 1975 to 1993. Not only OB・OGs or current members, but also many others came to celebrate him.



▲渡邊先生を囲み、参加者全員で記念撮影



▲(上) 明解な図を用いた先生の講義 / (下) 記念品の徳利「止酒」

喜寿を祝う会は二部構成で、第一部では西村先生より渡邊先生の業績(下記参照)の紹介があり、その後渡邊先生に「場所を造り配置する—都市の構法—」と題して講義をして頂きました。「都市設計は絵を描くことだ」というお言葉の下、都市設計研究室時代のプロジェクトから渡邊先生の近年のお仕事に至るまで幅広く明解な図面を用いてご紹介頂きました。先生の都市設計に対する信念が随所に感じられ、我々現研究室メンバーにとっては研究室のルーツの一端を知ることができる貴重な機会となりました。

また、都市工学科設立にも深く関わられ、「都市計画の実践を行う都市計画担当助役を10万人以上育てる」、「都市計画と設計の専門的職業人を世の中に送り込む」、「研究者を育てる」という都市工学科設立の3つの目的についてもご紹介頂いたのが非常に印象的でした。

最後に私たちへのメッセージとして、時代の変化に伴い制度改革やお金の使い方の変革の必要性を説かれました。特に、世帯が多様化し標準所帯という基軸が無くなりかけている住宅供給について、「住宅の供給や経営の仕方、制度的な組み替えが大事である」と、また、都心・駅心の整備について、「一定の場所では都市デザインの図に基づいて建築確認ではなく建築許可を行うくらい踏み込んだ対応が望まれる」と述べられました。

第二部は立食形式の懇親会となり、最後には渡邊先生より、先生自らの手で焼かれた徳利を一人ひとり記念品として頂きました。「止酒」と銘打たれたこの徳利は、「酒が入れにくい出にくい」味のある徳利です。本当にありがとうございました。



渡邊定夫先生の紹介

■経歴
1956年 東京大学工学部建築学科卒業後、(株)都市建築設計研究所に在籍

1964年 東京大学助手→講師→助教授(1975)
1984年 都市工学科教授(都市計画第2講座)に就任
同年 工学博士
1993年 東京大学を定年退職と同時に名誉教授に就任
同年 工学院大学教授に就任
2003年 工学院大学を定年退職

■主な業績

東大助手の時代: 東京計画1960、スコーピエ計画、ポロニヤ計画で中心的役割を果たした。

全国各地の都市デザインプロジェクトの指導: 日立駅前計画、幕張ベイタウンの都市デザイン、今井ニュータウン(長野オリンピック選手村)、九州大学伊都新キャンパスの計画、みなとみらい線の駅のデザインなどを指導した。

歴史的環境保全問題: 「史跡と都市計画の接点(平城宮、高松城跡、福岡の鴻臚館など)」に取り組んだ。奈良県橿原市今井町の町並み保存に長年関わり、また全国各地のまちづくり(福島県三春町、会津坂下)の指導も行った。

■受賞・表彰

1985年 日本都市計画学会論文賞
「地方都市と大学立地に関する一連の研究」
1988年 日本都市計画学会設計賞「アーバンデザイン手法における川崎駅東口周辺の都市活性化事業」
*論文賞、設計賞両方受賞された方は非常に少ない
1988年 日本建築学会論文賞

「都市と大学に関する一連の研究」

2003年 グッドデザイン賞アーバンデザイン部門(幕張ベイタウン)

2004年 日本都市計画学会功労賞
グッドデザイン賞アーバンデザイン部門(みなとみらい線)

■国際的な活躍

APSA(Asian Planning Schools Association)初代会長(1993-1999)
IFHP(International Federation for Housing Planning)国際学生コンペの審査員など

■主な著書

・アーバンデザインの現代的展望(1993)
・都市設計 新建築学大系
・今井の町並み(1994)
・新しい都市居住の空間(1997)
・都市のデザイン(1968)エドモンド・ペーコン著

日本全国OB・OGめぐり 第二弾!!

Lab's OB・OG Tour all over Japan Vol.2

全国各地で活躍されているOB・OGの方々に、自らのお仕事・活動を紹介して頂くこのコーナー。
第2回は山形県職員として活躍されている戸田惣一郎さん(平成17年修了)です。 text_abe

第2回 戸田惣一郎さん(山形県)

私は、新潟大学から進学し、2004年4月から2006年3月までお世話になりました。在籍中、喜多方や大野村のプロジェクトに関わり、地元である山形県、南陽市を元気にしたいと強く思いました。現在は、山形県職員として、宝くじの収益を活用したコミュニティ活動への助成事業や選挙関係の事務を担当しています。

今、南陽市は熱いです。一見、目立つ観光資源や名産品のない、東北の小さな地方都市ですが、昨年度の市主催の「夢はぐくむ故郷南陽コンペティション」をきっかけに、若者が30人も集り、まちおこしを始めました。図書館の空きスペースを活用したコミュニティ・カフェ、東京のOLが市内の農業青年と一緒に田植えや稲刈りをするツアー、廃校を若者の集う場として再生するプロジェクト、耕作放棄地でかぼちゃを作り、商品開発からスポーツまで挑戦するプロジェクトなど盛りだくさん。地方都市の課題は様々ありますが、この仲間たちと一緒に楽しく乗り越えられそうです。



▲コミュニティ・カフェで調理中



▲田植えツアーの様子

国際学会で堂々の発表 一大反響の”構想力”研究

Participating in The 16th International Seminar on Urban Form @ Guangzhou

D1 傳 舒蘭

9月4日から7日にかけて、中国の広州で行われた学会「ISUF」に参加しました。日本に来てから初めての帰国でしたが、全く分からない広東語の世界に落ち込んだり、風俗やマナーの差もあり、同じ中国とはいえ、なかなか面白い経験でした。学会では、都市形態の研究者が集まり、セッション毎に別れて、各自のテーマについて発表しました。同行した中島先生のチームが”構想力”研究の一部をとり、現地の例とも密着させた40分にも及ぶ発表は大変な反響がありました。



▲中島先生チームによる発表



▲三重大の松浦先生とまち歩き

発表者	題目
中島 直人	Intentions and transition of "contrast" in urban space of modern Tokyo : a case study of "syntax approaches for multilayered urban spaces"
中島 伸	Morphology of the co-ordination of grid pattern of the Japanese city : a second case study of "syntax approaches for multi layered urban spaces"
永瀬 節治	The form and meaning of the installation of railways in the pilgrimage site in Japan
江口 久美	A comparative study on urban heritage and change concerning the activities of the intermediate groups for preservation in France and Japan from the second half of the 19th century to the first half of the 20th century
ミレイ・チャビ	The images of fortification systems on the banks of Chao Phraya River
傳 舒蘭	Ideal form of Shan-shui City in China : a case study on Hangzhou

ヨルトモ 2009を開催!!

“Yorutomomo 2009” was held!!

M2 西川 亮

鞆プロジェクト前半の活動を総括するイベント「ヨルトモ2009」を去る9月12日(土)、13日(日)に開催しました。昨年度に引き続き2回目となった今回は、内容・規模ともに昨年度を上回る取り組みとなりました。

今年は夜の鞆の魅力を探ることを目的に、まちなかの店舗の延長営業、路地や浜のライトアップ、茶屋蔵の公開、保命酒を使ったカクテルを提供するバーなど、数多くの企画を用意。1日目は夕方まで大雨に見舞われたものの、その後は幸いにして天候に恵まれ、多くの観光客の方や地元の方に楽しんで頂けたようです。また、学部生も手伝いに駆けつけてくれ、2日間のイベントを無事に終えることが出来ました。

今後はヨルトモの結果報告会を鞆にて開催し、来年以降に繋げていく予定です。



▲太田家住宅前の路地空間をライトアップ

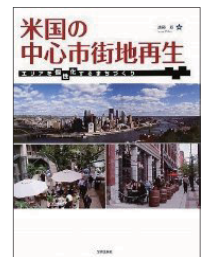


▲地元住民の方々による三味線の演奏

都市デザイン研究室 情報欄

おし
らせ

新刊



待望の書籍化!

当研究室OBで元助手の遠藤新工学院大学准教授の博士論文を基にした著書「米国の中心市街地再生-エリアを個性化するまちづくり」を刊行されました。

10月の予定

- 10月7-11日 高山PJ調査
- 10月10日 第4回愛知建築士会学生コンペ2次審査 @名古屋市中小企業振興会館
- 10月12日 研究室会議&新歓コンパ
- 10月14日 都市政策研究会@工学部14号館
- 10月22日 デザ研バレーボール大会@御殿下
- 10月27日 秋季都市工大運動会@御殿下

編集後記

text_abe

秋めいて来たことを銀杏の臭いで感じる今日この頃。マガジンに、PJに、世代交代の時期が着々と近づいております。不安も多いですが、頑張っていきたいです!!